

カトリック河原町教会だより

2012年5月

ご復活 おめでとうございます

世界各地で多くの方が洗礼を受けられました

4月5日、聖木曜日（主の晩さん）で、一年の典礼の頂点である「聖なる過越の3日間」が始まりました。今年は、復活の典礼の期間中に8名の方が洗礼を受けられ、5名の子どもたちが初聖体を授かりました。

初代教会の時代から、成人の洗礼は復活徹夜祭に行なわれました。それは、洗礼が、イエス・キリストが死んで3日目に復活され、父である神のもとに上げられた「主の過越」にあずかることであり、一人ひとりにとって、古い人間は死に、新しい神の子に生まれ変わる「過越」だからです。この夜、全世界の多くの教会で洗礼式が行われました。

◆4月5日 聖木曜日（主の晩さん） このミサで、キリストの最後の晩さん、ミサの制定が記念され、「洗足式」が行われました。

◆4月6日 聖金曜日（主の受難） この日、ミサはなく、キリストの受難を記念する祭儀が行われ、復活への希望をもって主の十字架の勝利を賛美し、「十字架の顕示」と「十字架の礼拝」が厳かに行われました。

◆復活の主日（復活徹夜祭） 光の祭儀によって盛大に始まりました。司教様が火を祝福し、その新しい火で復活の大ろうそくに火を灯され、この復活ろうそくから教会に集まつた一人ひとりのろうそくに火が灯されました。このミサの中で洗礼式が行われました。

◆復活の主日（日中） ミサ後、復活を祝い、聖堂前の広場、集会室、ヴィリオホールでパーティーが開かれ、ガールスカウトの子どもたちによるイースターエッグ、信徒の皆さんによる手作りのクッキー、ケーキ、ピザ、いなり寿司、おにぎりの他、ぜんざい、コーヒー、綿菓子等で楽しい交流のひと時を過ごしました。



三位 一 体

6月3日は三位一体の主日です。キリストの復活、聖靈降臨を祝ってきたわたしたちは、救いが御父と御子と聖靈のわざによるものであることを思い起こしたいと思います。

『カトリック教会のカテキズム』によると、「カトリックの信仰とは、三位である唯一の神、一体の神である三位を、互いに混同することなく、また実体を分かつことなくあめることです。父のベルソナと子のベルソナと聖靈のベルソナとはそれぞれ異なっていますが、父と子と聖靈は唯一の神で、栄光は等しく、その尊厳はともに永遠です」(266)とあります。三位一体は、人間の知性で理解することは難しい神祕ですが、わたしたちキリスト者にとっては救いに関わる本質的な教えなのです。

イエスは、神が「お父さん」であることをわたしたちに啓示してくださいました。それは、

イエスが御父に愛された御子であったからです。御父と御子イエスは、洗礼によって、父と子の交わり・絆、愛の息吹である聖靈をわたしたちに与え、わたしたちを神の子として父と子の交わりに招き入れられます。祈るとき、また聖堂に入るときに手を聖水に浸して、十字架のしるしをしながら「父と子と聖靈のみ名によって、アーメン」と言いますが、それは、わたしたちは「父と子と聖靈のみ名によって」洗礼を受け、「父と子と聖靈の愛の交わり」に入れられたのだということを意味しています。人間は神の似姿として造られましたが、原罪によって神から離れてしましました。そんなわたしたちを、洗礼の恵みによって、もう一度、三位一体である神の家族に、神の子として迎え入れてくださったのです。三位一体は、神が愛であるという啓示にはかなりません。神の愛に招かれたわたしたちは、その愛を恵みとして受け、その愛をこの世で証しするよう派遣されるのです。



ウォーカソンで愛の支援・・・ルワンダに義足や杖を NGO ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト活動報告会

毎年11月3日に行われるウォーカソンによって集められた募金は、支援を必要とする様々な団体に贈られています。1月15日、その支援団体の一つであるムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト(以下同プロジェクト)のガテラ代表がルワンダから来日し、支援に対する感謝をこめてルワンダでの活動状況を報告されました。



ガテラ代表(左)

悲劇を生み、1994年には3ヶ月の間に100万人以上の人命を奪われました。地雷や紛争で障がいを負い、紛争の終わった今なお多くの人々が苦しんでいます。義肢装具類の支援、自立支援が必要とされています。同プロジェクトは、このような障がい者たちを支援するために、1996年日本とルワンダにNGOを設立。ルワンダ



ルワンダ共和国はアフリカ中央部に位置し、人口は約1千万人。19世紀末に始まったヨーロッパ列強の植民地政策が遠因の内紛は、ルワンダ人同士による虐殺という



と隣国ブルンジにある義肢製作所で、義肢、杖、車椅子を作り配付しています。障がいを持つ人々の多くは定まった収入もなく、義足を買うことができません。彼らが立ちあがって、歩き始めることが自立の第一歩です。彼らを支えるために皆さんのが必要です。

ウォーカソン実行委員会は、ウォーカソンによって集められた募金のうち同プロジェクトに2004年73万円、2006年54万円、2008年37万円、2010年30万円を贈ってきました。

今年も、11月3日にウォーカソンが行われます。詳細は秋の「河原町教会だより」でお知らせします。

ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト
ホームページ <http://www.onelove-project.info>

新メンバーになりませんか ザビエル訪れ会

教育部のザビエル訪れ会は月に一回、キリスト教に関心をお持ちの方、また高齢や病気で教会に来られない信徒の方を訪問しています。現在7名のメンバーが活動をしています。参加者(特に女性の方)を募っています。

ザビエル訪れ会は、主に2つの事に重点をおいて活動をしています。一つ目は、月一回キリスト教に関心をお持ちの方への訪問です。現在7名のメンバーがA(岩田)、B(李家)の2班に分かれ、土曜日の午前中あるいは日曜日の午後に訪問しています。訪問する方は、クリスマス市民の集いのアンケートに回答をいただいた方々です。約180名の回答をいただいた中から、キリスト教に関心をお持ちの方で、京都市内にお住まいの38名をリストアップし、一軒一軒訪問しています。訪問することができきっかけとなって、入門講座やミサに足を運ばれるよう願っています。活動のモットーは実質的な成果を望むのではなく、訪問を通して、“イエス様の香りを残していく”ことです。『要理の友』、『祈りの友』、「心のともし

び」「カトリック河原町教会だより」等をお渡ししています。

二つ目は、高齢や病気で教会に来られない信徒の方の訪問です。昨年9月の敬老感謝ミサには108名の方が参加されましたが、その案内状に対して欠席の返信をされた方を中心に訪問しています。これからますます高齢化社会が進む中、高齢や病気のために教会に来られない方に、少しでもイエス・キリストの福音が届きますようにと願って活動しています。現在7名(うち女性1名)で活動していますが、メンバーが増えれば訪れる機会も増えます。訪問してお話しする方の大半が女性です。特に女性の参加をお待ちしています。関心をお持ちの方はファックスで教会事務所までお知らせ下さい。

※ファックス: 075-211-8021 ザビエル訪れ会宛



ザビエル訪れ会 例会

洛東ブロック司祭紹介

ペトロ 鶴山 進栄 神父

鶴山神父様は長崎のご出身で、何代続いているか分からぬくらいのカトリックのご家庭に生まれ、お父様は五島の出身といいますから、まさに隠れキリストの末裔というキリスト教の環境の中で幼児洗礼を受け、お育ちになりました。三重の大学で障がい児教育を専攻され、卒業後は三重県の養護学校に教師として勤め、30歳になられた2002年、東京神学院に入学。2008年に司祭叙階。現在洛東ブロック担当司祭として宣教司牧に携わっておられます。鶴山神父様にお話を伺いました。

◆大事にしているモットーは…

わたしは教会を神のひとり子であるイエス・キリストとの出会いの場としていただけたらと思います。キリストとの出会いによって、一人でも多くの人がキリストの生き方にならい、あらたないのちへと導かれますよう願っています。

◆養護学校の教師としての8年間の体験が今の神父様に大きな影響を与えていたります

教師となった2年目から本当に苦しみました。この苦しみの中で必死に祈る自分がいました。初代教会に通った人々の中には奴隸の身分の方もおられ、心身ともにキズだらけの日々の生活のなかで、教会にいる時だけは奴隸という立場から逃れ、神の子であることの幸せを味わったのだと思います。少し大げさかもしれません、わたしも同じように神の愛に触れ、救われたのではないかと思っています。

◆ビーグング マザーのような「神の愛」に触れる…

障がい児のお母さんのあり方として、お箸がもてるようになった、あるいは歩けるようになった等、何かができるようになった時にその子をより愛するというあり方を、ドゥーゲン



山科教会で

(doing=行動)マザーといいます。一方、この子はお箸を持てないかもしれない、歩けないかもしれない、でもわたしはこの子を愛し続けるというお母さんのあり方を、ビーイング(being=存在)マザーと呼ぶことを研修会で学びました。まさに、信仰というのは、このビーイング マザーのような「神の愛」に触れることではないでしょうか。

◆日々、司祭としてどのようなことをなさっていますか…

- ・教会での日々のミサ
- ・信徒の方への講座 山科教会では月に3回、桃山教会では毎週水曜日に聖書や教会についての学びの講座
- ・結婚式前の講座
- ・病気や高齢で教会に来られない方のための病床訪問
(チームの皆さんと手分けしての訪問)
- ・カトリック青年センターの担当司祭として、青年のための聖書の集い、ワールドユースデー、アジア体験学習の奉仕活動等

◆最近感動されたことは…

昨年、休みのひと時に琵琶湖を訪れました。夕暮れ時の美しい風景でした。一人でこの景色を眺めているうちに、この大自然をおつくりになった神のまえで、人間はなんとちっぽけなのだろうと、人間の悩みとか計画の小ささをひしひしと感じました。

.....◆◆◆.....

ペトロ 鶴山 進栄 神父 プロフィール

1972.3 長崎市生まれ

2008.3 司祭叙階

参加しませんか 週に1回 2時間

せいしえん

聖ヨゼフ整肢園ボランティア



活動は、重度の障がい者のためのエプロンや枕カバー作り、食事用のおしりの準備が主な仕事です。月曜日から土曜日の午前か午後のうち、自分の都合に合わせて、週に1回2時間のボランティアです。

聖ヨゼフ医療福祉センターは、キリスト教の人類愛に基づき、障がい児(者)の医療・福祉を通して地域社会に



貢献することを目的として、1963年に設立された肢体不自由児施設です。開設の翌年からボランティアによる奉仕が始まり、今年で49年目を迎えました。信徒だけでなく、教会外の多くの方々が活動に参加しています。現在39名の方が登録しています。特別な介護の資格は必要ありません。自分ができる範囲で参加しませんか。見学も可能です。



ミシンでエプロンつくり

4月18日(水)、ボランティアとその家族のために、センター内の聖ヨゼフ修道会の聖堂で、花井神父様によるミサとボランティア総会が行われました。



花井神父様のミサ

聖ヨゼフ医療福祉センターは、衣笠教会から西大路通りを南に下った、北野白梅町の交差点の近くにあります。参加いただける方は、下記の運営委員まで連絡ください。

せいしえん

名称：聖ヨゼフ整肢園ボランティア

住所：京都市北区北野東紅梅町6

電話：075-462-7621 (浅田、牧)

●2012年6月～8月の行事予定●

6/3	日	三位一体の主日	河原町教会評議会 6月例会
6/10	日	キリストの聖体	
6/17	日	年間第11主日/結婚誓約更新ミサ 10:30	
6/24	日	大塚司教・花井神父 灵名のお祝い(10:30ミサ)	衣笠墓地清掃(1回目)
7/1	日	年間第13主日	河原町教会評議会 7月例会
7/29	日	年間第17主日	教会美化デー
8/4	土	～6日(月)教区中学生広島平和巡礼	
8/5	日	年間第18主日	河原町教会評議会 8月例会
8/6	月	～14日(火)被昇天準備礼拝 6:30	
8/9	木	～11日(土)土曜学校鍊成会	
8/12	日	平和旬間行事	
8/15	水	聖母被昇天	
8/16	木	諸死者追悼ミサ 18:00	
8/25	土	教会学校研修会	
8/26	日	田中司教靈名のお祝(10:30ミサ)	

お知らせ

- 2012年4月20日(金)に開催されたトランペット(北村源三)&オルガン(和久徑子)チャリティーコンサートによる献金20万円が京都教区サポートセンターに贈られました。
- 5月7日から31日までの予定で、前庭駐車場と南側門扉の補修工事が行われます。南側門扉は工事期間中閉鎖されます。従いまして工事期間中の車の乗り入れはできません。また、河原町通りから歩道を横切って河原町教会正面西側入り口から車で入ることは、危険が伴い、歩行者の安全がそこなわれることも考えられますので、進入禁止とします。工事期間中、皆様にご迷惑をおかけしますが、ご協力いただけますよう、よろしくお願いします。
- 5月度評議会報告は次号に掲載致します。
- ミサ中の聖歌は備えつけの『典礼聖歌』をご利用下さい。教会では200冊用意いたしましたが、できるだけご自分のものをお持ち下さい。



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)	7:00 10:30 12:00 (英語)
月曜日	6:30
火曜日	6:30 18:30
水曜日	6:30 18:30
木曜日	6:30
金曜日	6:30 18:30
土曜日	6:30 18:30 (主日のミサ)

河原町教会では信仰の学びのために次の講座が開催されています。どなたでも自由に参加できます。

◆信頼入門講座

月曜日	19:15	花井拓夫神父
火曜日	10:00	花井拓夫神父 テキスト『キリスト教とは何か』
	19:15	ホアペール神父
水曜日	19:15	ホアペール神父
金曜日	19:15	村上透磨神父

◆信頼養成講座 北村善朗神父
信頼の方で信頼をより深めたい方のための講座です。毎月1回

5/31(木)	14:00
6/28(木)	14:00
7/19(木)	14:00

テキスト:『カトリック教会のカタキズム要約』

◆聖書通読会(教育部主催)

毎週金曜日 14:30
聖書(新共同訳)を10章ずつ輪読しながら全巻を読む集いです。

5月25日で聖書通読会は完了します。2009年6月26日以来137回、2年11か月にわたる通読会でした。

